

2016年12月6日

平成28年度

東京地区

「インターンシップ等専門人材ワークショップ」

インターンシップ等の将来に向けて ～国際標準に学ぶ専門人材のあり方～

加藤敏明(文部科学省産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会委員)

經緯

<長期インターンシップ支援>

「産学連携による実践型人材育成事業」

2005～2006年度 30大学採択

<インターンシップ+キャリア教育支援>

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(通称:現代GP)」

2006～2007年度 63大学採択

<中堅大学支援>

「大学生の就業力育成支援事業(通称:就業力GP)」

2010年度 180大学採択

「産業界ニーズ事業(テーマA/大学間連携)」

2012年度 8グループ/146大学採択

「産業界ニーズ事業(テーマB/専門人材育成)」

2014年度 11グループ/104大学採択

●本WSに向けて、整理してみると

中堅大学と中小企業の連携

(就業力GP)2010-11



地域内の大学間連携

(産業界ニーズ事業／テーマA)2012-13



連携に向けた専門人材の内発的育成

(産業界ニーズ事業／テーマB)2014-15

管理者タイプ【独立系】

- ①学内外調整
- ②決裁権

教育プログラム開発タイプ【教員系】

- ①P開発と実践
- ②情報収集、発信
- ③大学間連携

学修意欲喚起タイプ【教員系】

- ①P開発と実践
- ②情報収集、発信
- ③大学間連携

学内調整タイプ【教員系】

- ①研究科・学部・学科内調整
- ②大学間連携

業務遂行タイプ【職員系】

- ①学生対応
- ②企業等開拓
- ③大学間連携

国際標準を知る

キャリア教育

(狭義／教室内の座学)



産学連携教育

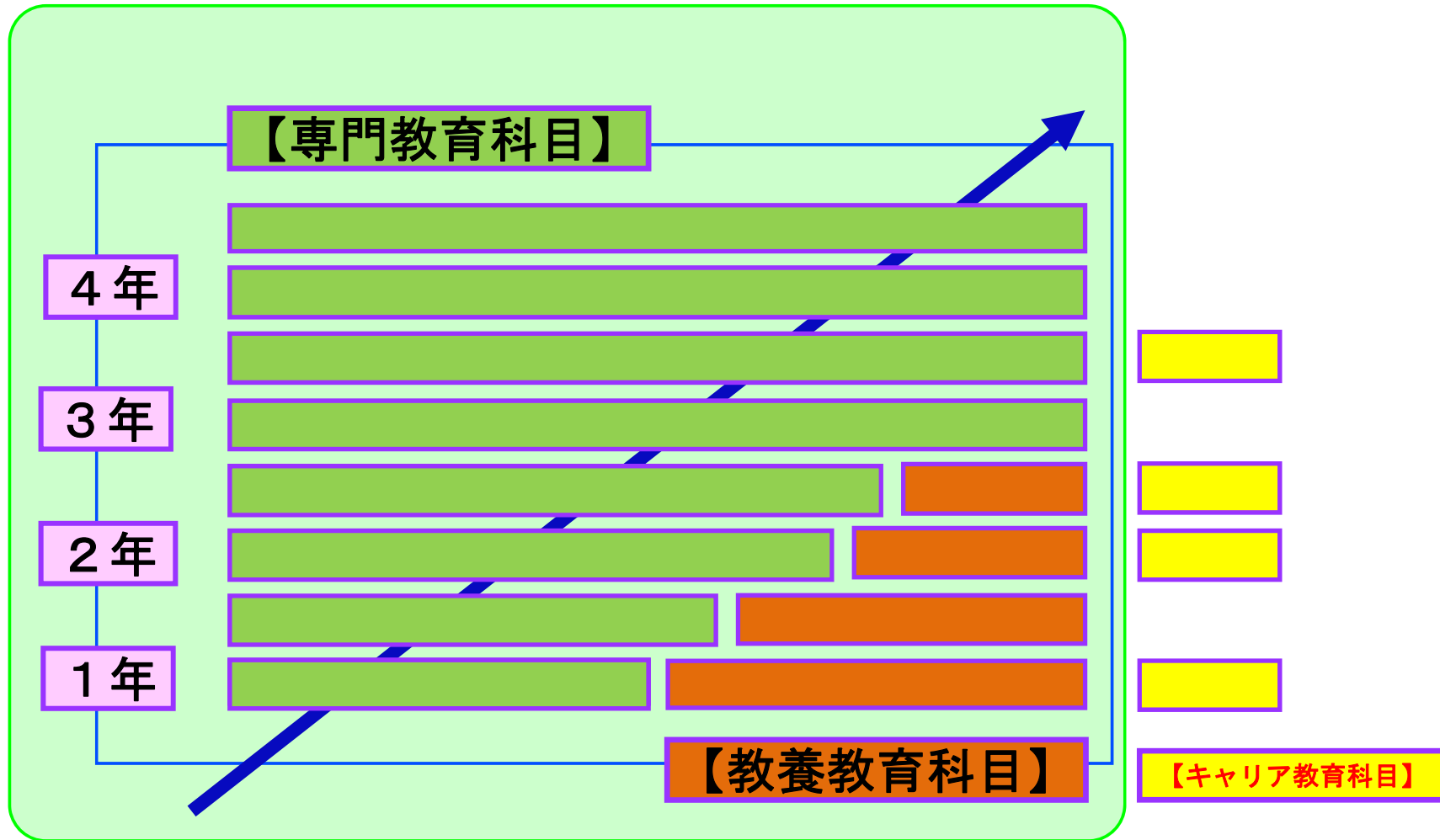
(インターンシップ、サービスラーニング、実習など体験学習)



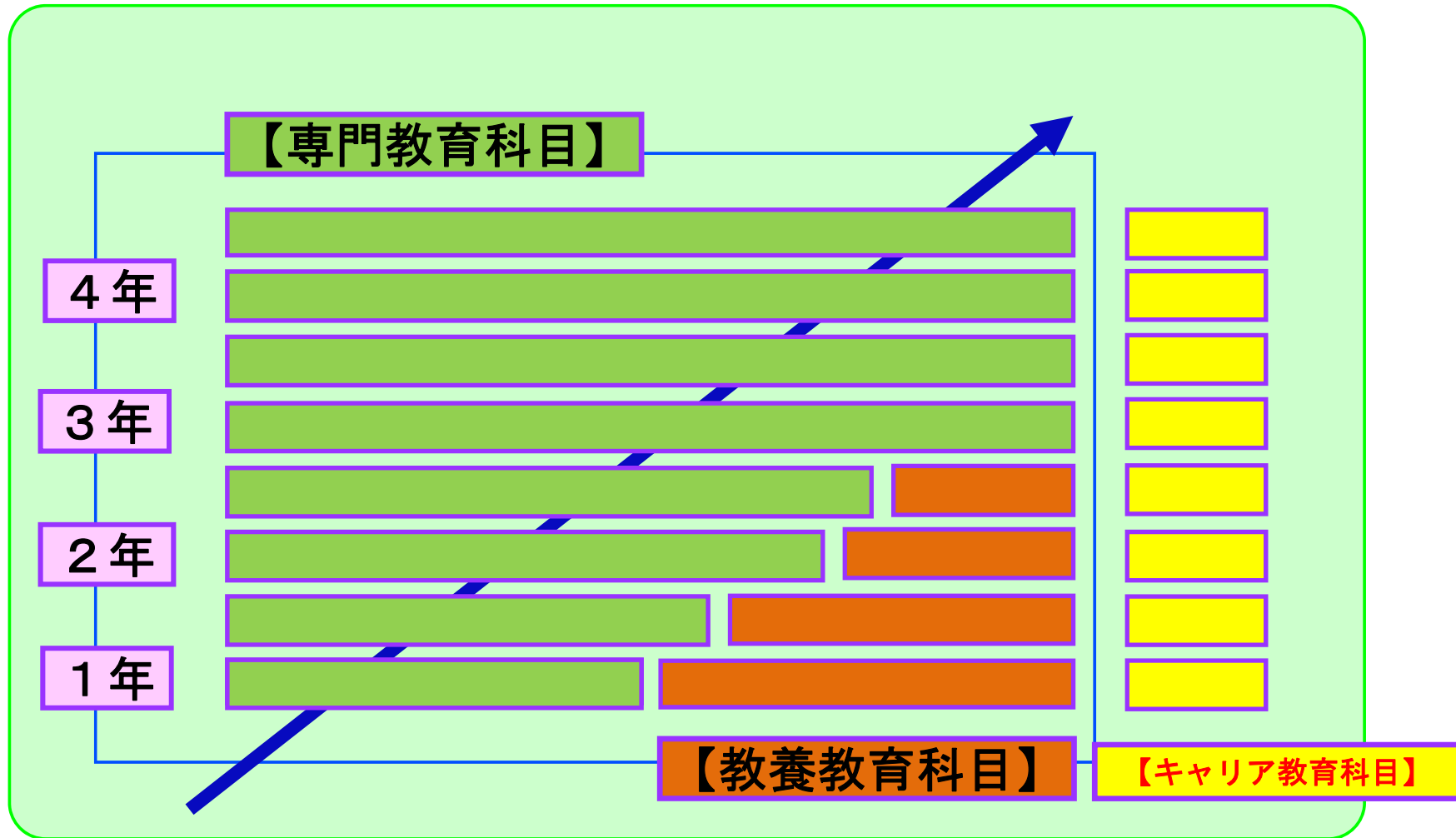
専門教育等の底上げ

キャリア教育

キャリア教育の初期段階

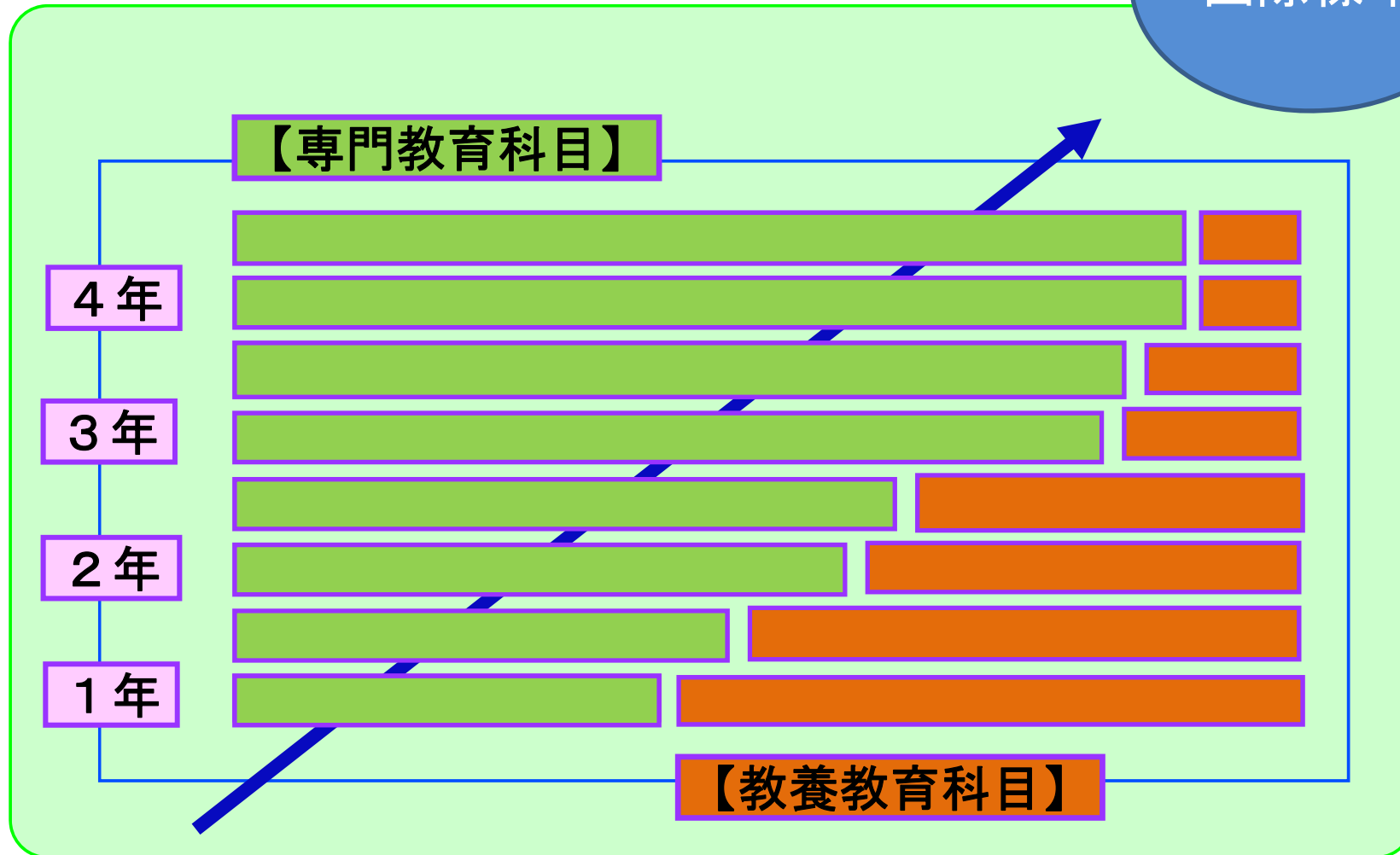


キャリア教育の発展段階



キャリア教育の完成段階

国際標準



産学連携教育

(インターンシップ等)

インターンシップ(産学連携教育)の国際比較

【米国】

①期間／3ヵ月が主流 ②有償 ③単位化 ④大学実施率100% ⑤学生参加率90%超

【欧州】

①期間／1～3ヵ月 ②有償 ③単位化 ④大学実施率100% ⑤学生参加率40～60%

【アジア】

①期間／1ヵ月が主流 ②有償 ③単位化 ④大学実施率100% ⑤学生参加率80%超

【日本】

①期間／1～3週間 ②無償 ③非単位が主流 ④大学実施率72.9% ⑤学生参加率2.6%※

(註)資格取得等を含むと19.2%。企業主導のワンディインターンシップ等を含むと推定70%程度。

(リクルートワークス研究所、リクルートキャリア、HEFCE、文部科学省、日本インターンシップ学会)

(国際標準を意識しつつ)

私たちは何をすべきか

提案 1

専門教育等のキャリア教育化

【事例】 専門教育科目をキャリア教育化する(立命館大学)

「日本文学史Ⅰ」(文学部・2年生対象、選択・2単位)

「森鷗外から村上春樹まで純愛をテーマとする日本文学の潮流を辿りながら、日本人の精神世界を探求する。愛とは何か、文学作品を通じて慈しみ、赦し、葛藤し分かち合う心の広がりや深まりを考察することで、文学が持ち合わせる豊饒な世界を理解する」(2005年度シラバス)



「キャリア形成論Ⅱ」(全学部・全学年対象、選択・2単位、オムニバス)

「森鷗外の代表作『舞姫』を教材とする連続4回講義。江戸人(中世人)から明治人(近代人)へと変貌する鷗外の人生前期を概観し、人間が抱える価値観の変遷、それに伴う苦悩や葛藤の精神世界を辿る」(2006年度シラバス)



「日本文学史」(文学部・全学年対象、選択・2単位)

「森鷗外の代表作『舞姫』を教材に、江戸人(中世人)から明治人(近代人)へと変貌する鷗外の人生を俯瞰することで人間が抱える価値観の変遷、それに伴う苦悩や葛藤と克服に向かう精神の広がりを辿る」(2007年度シラバス)

専門教育科目におけるインターンシップ「事前学習」指定科目

提案 2

インターンシップ事前授業の専門教育化

【事例】 専門教育化されたIS事前学習

国際標準

STEP1 「キャリア (Career) の概念を習得する」



STEP2 「キャリア教育 (Career Education) を理解する」



STEP3 「インターンシップ (Internship) を内省化する」

【事例】 専門教育化されたIS事前学習

国際標準

1～2講 「キャリア(Career)の概念を習得する」

- キャリア(Career) ⇒ 轍 ⇒ 連続・継続概念
- 学生の人生に落とし込む



〈例〉 キャリアの概念でとらえる女性の生涯所得



2億円(40年)か、4700万円(33年)か

【事例】 専門教育化されたIS事前学習

国際標準

3～12講 「キャリア教育(Career Education)を理解する」

3～4講 教育学(青年発達論)



5～6講 社会学(教育社会学)



7～8講 心理学(発達心理学)



9～10講 経済学(労働経済学ライフスタイル論)



11～12講 経営学(組織論、人材論)

【事例】 専門教育化されたIS事前学習

国際標準

3～12講 「キャリア教育 (Career Education) を理解する」

3～4講 教育学(青年発達論)

5～6講 社会学(教育社会学)

7～8講

9～10講 ライフスタイル論)

11～12講 経営学(組織論、人材論)

「専門人材」による検証が必須

【事例】 専門教育化されたIS事前学習

国際標準

13～15講 「インターンシップ(Internship)を内省化する」

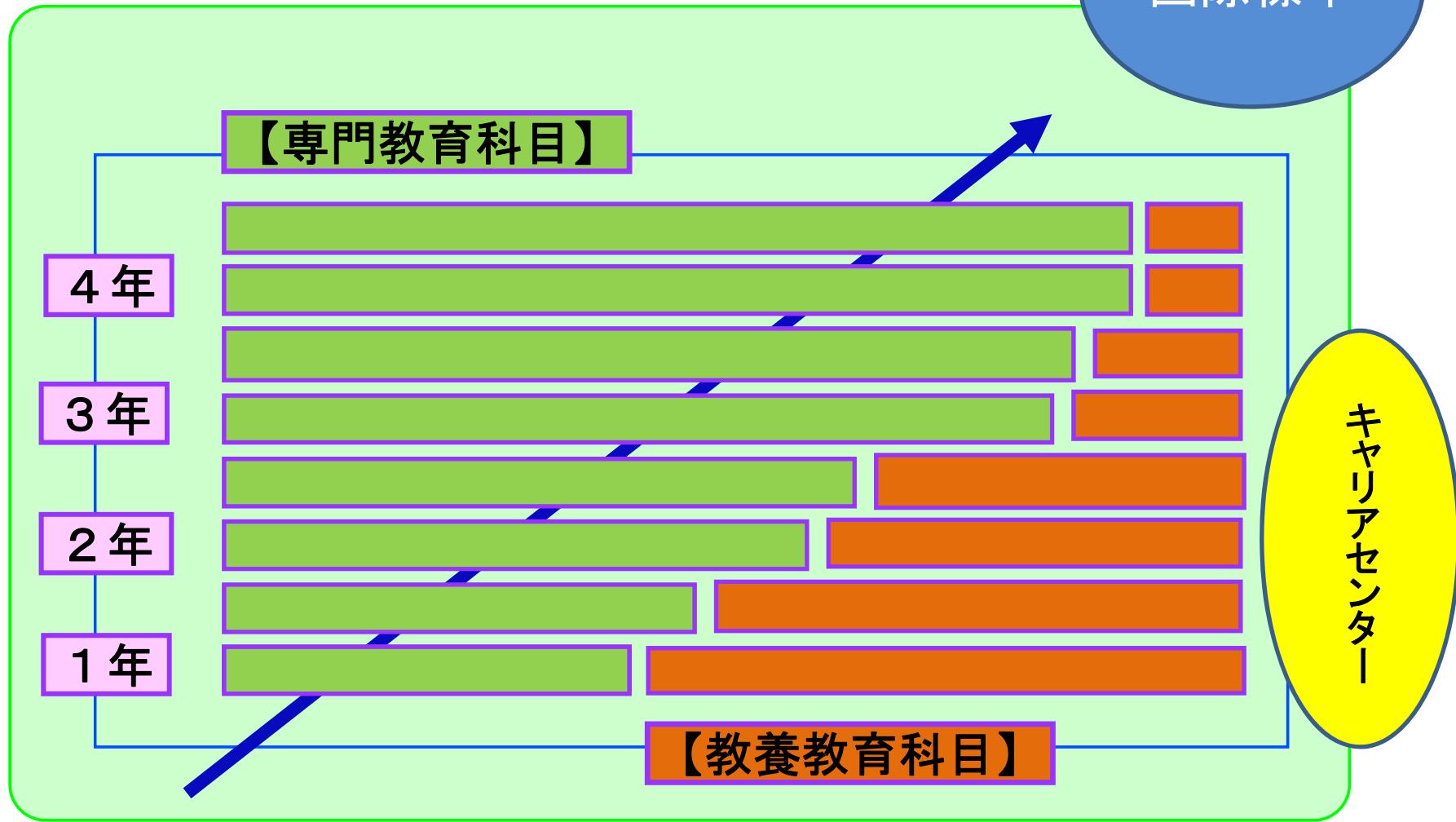
- 自己理解から他者認識へ
- 「学生目線」を自覚させる



〈例〉 グループワーク課題
「**その人**は今、何を考え、何を望んでいるのだろうか」

キャリア教育の完成段階

国際標準



【結 論】

国際標準を意識しつつ
私たちはどのようにして専門人材を内発的に育むのか

【結 論】

国際標準を意識しつつ
私たちはどのようにして専門人材を内発的に育むのか



産官学地と連携し
教育力を
国際標準に引き上げる



教職員から様々なタイプの専門人材が育成



まず、何から始めるか？
ポイントをしっかり教えます！

監修 山田 総一郎
日本学生支援機構学生生活部長

編集代表 加藤 敏明
文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会」委員

悠光堂

ご清聴ありがとうございました。

加藤

katoshi1@yahoo.co.jp